



特集

スマートハウスがもたらす 大きな代償

科学者からの警鐘●それでも地球温暖化を信じますか | 伊藤公紀 NGO団体からの提言●地球“温暖化”キャンペーンが、熱帯雨林の森と暮らしの破壊を加速させる | 清水靖子・辻垣正彦 被害者からの訴え●苦情は「あなた一人」ではない エネファームの健康被害の現実 設備設計者からの提案●エアコンのいない気持ちの良い家はできる | 山田浩幸



ワールドレポート
スウェーデン環境教育の
現況[前編]
——筒井英雄



炭鉱製鉄所の保存・活用
——笠原一人

地域の話
柏市内の設計事務所4者が
お店デザインコンペを開催



田分寺にある風道の家は、
エアコン要らず。
設備設計＝山田浩幸 写真＝M.S.

政府がCO₂削減を進めてきたのは、原子力発電の推進にほかなりませんが、CO₂削減による政策は、非現実的であり危険を伴います。IPCCの信頼が失われ、環境政策の多様化を世界は求めています。日本はCO₂削減から早く抜け出し、多様な価値観の共存共栄を持つことが地球環境のあり方だと思えます(伊藤公紀「環境国立大学入試教授」)。国の意向によって、最先端のエコ機器を搭載した高気密・高断熱住宅が増え、いくとも思いますが、果たして良いのか、とても疑問です。高断熱化や高気密化によって、いくらQ値を低く設定しても、放射熱対策をしていなければ、体感的には暑いままです(山田浩幸「yamada machinery office inc.」)。

各地域の拠点を置く設計事務所の
作品集

建築集